

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	新島学園短期大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ニイジマガクエンタンキダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	関東地方(東京都を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立短期大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	ビジネスインターンシップ
	学部・研究科等名	キャリアデザイン学科
	担当教職員名・役職	駒田 純久 教授鈴木 通春 事務長・キャリアセンター長内藤 江理子 事務職員
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	21
	受入企業等数	14
	受入企業等名	群馬県庁・高崎市役所・渋川市役所・(株)群馬銀行・トヨタカローラ高崎(株)・(株)群馬バス・(株)朝日ぐんま・上武印刷(株)・(株)レストランスワン・(有)ハートマーケット・(株)ホテルメトロポリタン高崎・(株)本島ビジネスセンター・(株)ワイディアオペレーションズ WHITE IN TAKASAKI・イオンビッグ(株)
	インターンシップの分類	10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入企業の社員とできるだけ同じ業務を体験できるように工夫している
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		1年次
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		1年生を対象に2単位の科目としている
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	実習中、学生や企業の方と連絡を取り合う
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	授業ではマナー講師によるマナー講座を実施している
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	日報と企業の方からの評価表を参考に振り返りをし、今後の就職活動への意欲を促している
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	企業の方と実習前後と実習中に連絡を取り合う
4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい	

要素④	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実施日の日報以外にインターンシップ全体についての個人レポートとプログラムについての評価アンケートを作成させている
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	5日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	事前3日以上
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	原則5日だが、受入企業により4日+事前事後指導3日以上を併用している
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学で作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.niitan.net/2018syllabus/pdf/2018syllabus_283.pdf 新島学園短期大学 HP
問い合わせ先	大学等名	新島学園短期大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	キャリアセンター長
	担当者氏名	鈴木 通春
	電話番号	027-326-6161
	メールアドレス	tandai@ns.niitan.jp